

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-05-01		
施設名	防災センター				
所在地	荒川区荒川二丁目25番3号				
部課名	区民生活部防災課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	1996年			
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	1997年		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成10年6月11日	職員数	30	1	
構造		階層	地上4階、地下1階		
面積	敷地面積	521.07m ² m ²			
	延床面積	1382.5m ² m ²			
設置目的・経緯	区民の防災に関する知識の習得及び防災意識の高揚を図るとともに、災害発生時の災害応急活動の拠点とする。				
関連部署	生活安全課				
根拠法令等 設置条例	防災センター条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	1階：展示コーナー（災害時 職員待機場所）・受付・建築相談ステーション 2階：情報管理室・無線室・無線放送室・防災課事務室 3階：災害対策室・生活安全課事務室・危機管理専門監室 4階：防災研修室・無線機械室 地階：電気室・機械室・倉庫				
対象者	区民、防災区民組織、防災関係機関				
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分			
	休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（展示コーナーは年末年始を除く毎日午前9時～午後5時）			
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	起震車体験利用者数（人）	6,955	7,386	7,273	7,049
	※下段は団体数	108	89	90	83
に指定 等管理 費理					
備考					

III 財務諸表

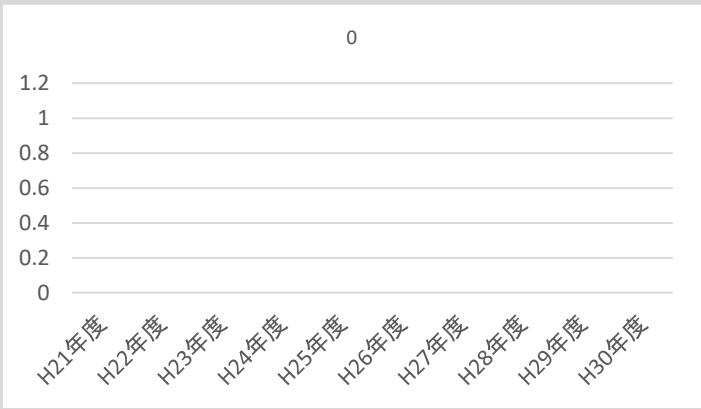
(単位:千円)

	勘定科目					勘定科目			
	H29年度	H30年度	差額			H29年度	H30年度	差額	
行政コスト計算書	給与関係費	98,555	130,198	31,643	地方税等	0	0	0	
	物件費	18,490	33,546	15,056	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	1,730	3,518	1,788	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	43	0	▲ 43	使用料及び手数料	188	188	0	
	減価償却費	14,416	14,799	383	その他	28	28	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	216	216	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,719	5,937	218	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 138,737	▲ 187,782	▲ 49,045	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	138,953	187,998	49,045	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 138,737	▲ 187,782	▲ 49,045	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 138,737	▲ 187,782	▲ 49,045		
貸借対照表	勘定科目				勘定科目				
	流動資産	H29年度	H30年度	差額	流動負債	H29年度	H30年度	差額	
	収入未済	188	0	▲ 188	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	4,216	5,937	1,721	
	有形固定資産	974,546	960,130	▲ 14,416	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	542,069	542,069	0	固定負債	33,553	26,200	▲ 7,353	
	建物	720,794	720,794	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	▲ 288,318	▲ 302,733	▲ 14,415	退職給与引当金	33,553	26,200	▲ 7,353	
	工作物等	16,011	16,011	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	▲ 16,011	▲ 16,011	0	負債の部合計	37,769	32,137	▲ 5,632	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	941,530	932,175	▲ 9,355		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	941,530	932,175	▲ 9,355		
その他の固定資産	4,565	4,182	▲ 383	負債及び正味財産の部合計	979,299	964,312	▲ 14,987		
資産の部合計	979,299	964,312	▲ 14,987						
備考	平成30年度の行政費用の維持補修費は、地下タンク（軽油）FRPライニング施工等である。								

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	39	41	43.3	
	1㎡当たりのコスト(円)	-	187,544	105,570	135,984	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名: _____)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	—	目標値	—	—	—	—
	実績値	—	—	—	—	—
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他(_____)					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: _____) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	防災に関する普及及び意識の啓発施設、災害対策本部の活動拠点					
現状・課題	<p>○建設から20年以上が経過したことにより、小破修繕等が多く発生している。経年劣化もあり設備の更新も検討する必要がある。</p> <p>○災害時の拠点となるため、自家発電装置等の機器類の更新を計画的に行っていく必要がある。</p> <p>○防災・災害時等における情報の収集・管理・伝達を担うシステムについても老朽化しており、構築が必要である。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○防災用の特殊な設備については、適時、改修等を行っていく。</p> <p>○災害時等に迅速かつ効率的に情報収集・共有から区民等への情報伝達までを行うことのできるシステムの構築を行っていく。平成31年度はシステム導入のためのプロポーザルを実施し、業者を選定し導入を行う。</p>					
議会、利用者等からの意見	平成25年 決特「非常時の電源確保について」 平成30年 決特「非常時の電源確保について」					



Blank area for additional notes or comments.

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S04-05-02		
施設名	防災広場				
所在地	荒川六丁目55番他19箇所				
部課名	区民生活部防災課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和57年~	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和57年9月1日~		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和57年9月1日~		職員数	-	-
構造	-		階層	-	
面積	敷地面積			8,404	m ²
	延床面積			-	m ²
設置目的・経緯	災害時に地域の防災活動の拠点や平常時の地域住民の防災訓練及び日常の交流の場として活用する目的で設置				
関連部署	-				
根拠法令等 設置条例	荒川区防災広場の設置等に関する要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時は地域の防災活動の拠点として利用 ・平常時は地域住民の防災訓練および日常の交流の場として活用 				
対象者	区民				
運営時間等	運営時間	-			
	休日	-			

施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (見込み)
	防災広場整備進捗率 (%)		59	59	53	53
※目標数22地域/危険度5または4の町丁目内の広場35						
防災広場整備数 (か所)		19	19	16	16	16
※地域危険度4又は5の町丁目の数						
に指定 等 管理 費理						

備考	
----	--

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	5,051	7,195	2,144	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	2,607	501	▲ 2,106	都支出金	0	2,317	2,317
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	403	403	0
	減価償却費	10,230	9,249	▲ 981	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	403	2,720	2,317
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 42,696	▲ 14,225	28,471
	その他行政費用	25,211	0	▲ 25,211	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	43,099	16,945	▲ 26,154	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 42,696	▲ 14,225	28,471
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 42,696	▲ 14,225	28,471
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	流動資産	収入未済	▲ 188	0	188	流動負債	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	4,824,716	4,815,467	▲ 9,249	賞与引当金	0	0	0
	土地	4,742,170	4,742,170	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	209,437	209,437	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 126,891	▲ 136,140	▲ 9,249	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	4,824,528	4,815,467	▲ 9,061	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	4,824,528	4,815,467	▲ 9,061	
資産の部合計	4,824,528	4,815,467	▲ 9,061	負債及び正味財産の部合計	4,824,528	4,815,467	▲ 9,061	

備考	固定資産の工作物等は、防火水槽設置費等である。
----	-------------------------

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	61	61	65.0	
	管理面積1㎡当たりコスト(円)	-	6,283	5,128	5,128	
	施設維持補修費比率(%)	-	1	1	1.2	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	防災広場整備進捗率(%)	目標値	63	63	63	63	63
		実績値	59	59	59	59	
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ	防災訓練の実施場所、災害時の防災拠点						
現状・課題	<input type="radio"/> 施設の老朽化により修繕を必要とする箇所がある。 <input type="radio"/> 施設の利用について近隣との理解が必要である。						
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 計画的に修繕・工事に対応していく。 <input type="radio"/> 近隣からの意見・苦情については、丁寧に対応していく。						
議会、利用者等からの意見	平成28年 予特「かまどベンチの設置箇所数について」 予特「トイレの設置箇所数及び洋式トイレの設置箇所数」 平成29年 予特「樹木の剪定の実施時期」 平成30年 予特「防災広場建設用地の確保について」						

